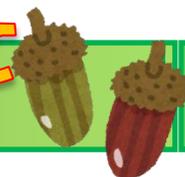
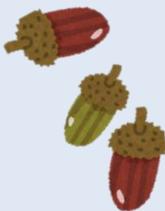


ネットワークのつくり方について ～みんなの体験や工夫をシェアしよう～



秋雨前線が雨を運んできた平成28年9月16日(木)に第219回障害者地域生活支援研究会が開催されました。今回のテーマは「ネットワークのつくり方について～みんなの体験や工夫をシェアしよう～」です。グループワークを中心に進められました。

グループワークの前にアイスブレイクをかねて旗揚げアンケートを行い、7つの質問に対し①～⑤の番号を貼った①赤 ②青 ③黄 ④桃 ⑤緑の5色カードの中から、自分近いものを挙げて頂きました。



- EX: この支援研究会の情報はどうやって知りましたか?
- Q1: あなたについて教えてください。
- Q2: ネットワークづくりでいちばん困っていること。
- Q3: ネットワークづくりで2番目に困っていること。
- Q4: ネットワークをつくる上で あなた自身の課題・苦手なことは?
- Q5: ネットワークをつくるためどんなことを心がけていますか?
- Q6: どんなネットワークを求めていますか?



一番多い答えをピックアップすると、今日の参加者さんは
<メールのお知らせでこの支援研究会を知ったサービス提供事業者さんが中心で、他機関とのコミュニケーションで困っているけれど、所属機関や自分のネットワークに関する課題がわからないので、人の集まっている場所に積極的に来て、いろいろな職種・業種の人とのコミュニケーションを図ろうと思っている人…>という全体象が見えました。

グループワークは5人ずつABCの3グループに分かれて自己紹介から始まり、3つのテーマに沿ってワールドカフェ方式で話し合われました。

- <テーマ①> ネットワークをつくる上で
「いま困っていること」の現状の共有。
- <テーマ②> ネットワークをつくるために
「いまどうしているか(取り組んでいることや工夫)」
- <テーマ③> ネットワークに求めていること
「どんなネットワークがあれば良いかネットワークを通して
実現したいこと自分ができること」

グループワーク後のグループ発表では、「こういった会に顔を出す等、行動しないといけない」「仕事柄フォーマルな支援に眼が向いていて、インフォーマルな支援をどうやって見つけ、どう活用するか手さぐりの状態であったが、今回インフォーマルな取り組みをしている団体等の情報を知ることが出来た」「これまで馴染みのなかった障害の領域の方に出会えた」「ネットワークは人と人との関係性であるが、うまくつながるにはどうしたらいいのかが、今日の出会いを通じて見えてきた」等のご意見・ご感想が聞かれました。

また、グループワークに対して“苦手意識がある”という声をよく聞きますが、グループワークが苦手な方でも、ざっくばらんに話せる場として「月1回でも集まる場が必要ではないか。この支援研究会がそういう位置付けであるのでは?」のご意見も頂きました。当支援研究会は座学的なものが多いのですが、今後ざっくばらんに話さきっかけつくりにして頂けたらと思います。

本日の参加者は19名。内新規の方2名にご参加頂きました。少人数ではありましたが、最後の旗揚げアンケートで **Q7 今日の感想に一番近いことはなんですか?**と何うと <思ったより楽しめて、知り合いが増えて、聞きたいことが聞けた支援研究会…>だったようです。次回のご参加もお待ちしております。ありがとうございました。

今回の司会進行は支援研究会事務局 北九州市障害者基幹相談支援センター 石丸 美穂が務めました。



※こちらの議事録は
北九州市障害者自立支援協議会の
ホームページでもご覧いただけます。
<http://kitakyushu-net.shien-c.com/>

